
死刑囚子育てプロジェクト

暁

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死刑囚子育てプロジェクト

【Nコード】

N3188Z

【作者名】

暁

【あらすじ】

とある刑務所内では、死刑囚を使ったプロジェクトがおこなわれていた。このプロジェクトの先に待つのは、絶望か希望か…。

1話 前半（前書き）

このサイト&ネット連載初挑戦です。誤字脱字ありましたら、ごめんなさい。

1話 前半

10月1日 とある刑務所内会議室

『死刑囚 060号 柿島 要人。生い立ちや過去は一切不明のホムレス。確認できるだけでも31人を殺害』

プロジェクト参加メンバーは、手元の資料を読んでいく。

「梨東、本当にこんな奴に子育てができるのか？」

「彼が育てる柚木リサちゃんには色々と問題がありますしね…」

「まあ、やってみようよ。いつちゃん？」

「桃屋！いつちゃんて言うな！私は苺谷だ！」

苺谷は桃屋に掴み掛る。

「060号を連れて来るので、落ち着いて下さい！」

とある刑務所内 特別プロジェクト参加死刑囚収容独房

薄暗くジメジメしている通路を歩き、060号が収容されている独房についた。とても分厚い扉を開け中に入ると、暗闇の中に拘束された060号を見つける。

何もここまで拘束しなくてもいいのでは？と、疑問が頭に浮かぶ。

「……あつ、今拘束を解きますね」

僕は頭に被せられた袋を取り、目隠しと猿轡を解く。

「大丈夫ですか？」

「…医者か？」

「白衣を着ていますが、医者ではありません。犯罪心理学者の梨東一多喜です。拘束具、全部解いてしまいますね」

060号の足枷と全身の拘束具も外していく。

「外してもいいの？」

「逃げようとしても無駄ですよ。逃げたらあなたの首輪が爆発しますからね」

「それは分かっている。俺に何をするか聞いているんだ？」

「あなたは特別プロジェクトに選ばれたんです」
「プロジェクト？…ああ、死刑囚に薬物投与の人体実験をしたり、
女死刑囚に子供を産ませて、人殺しの子供は人殺しになるか調べた
りする、あの狂ったプロジェクトか」
「あなたがするのはそんな事じゃありません。あなたがするのは、
あなたが殺した人の子供を育てる事です」
「はあ！？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3188z/>

死刑囚子育てプロジェクト

2011年12月11日01時53分発行